



PDA 埼玉県立浦和高等学校即興型英語ディベート 体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2020年10月9日(金) 16:00-17:00

会場：埼玉県立浦和高等学校 (Zoom を用いたオンライン開催)

参加者：生徒 21 名、教員 3 名

ジャッジ：PDA スタッフ、PDA 認定教育ジャッジ、東京大学大学

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

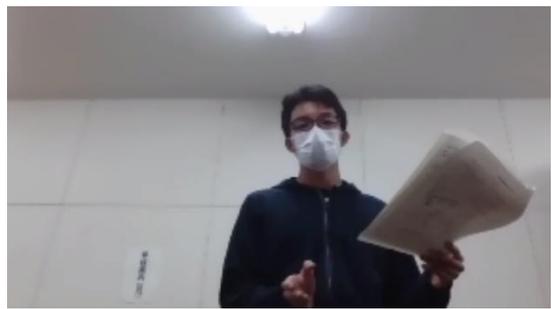
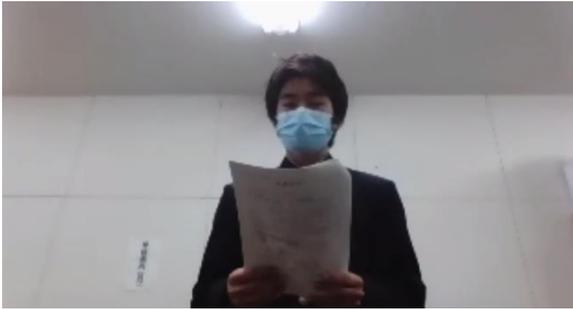
実践に移る前に、PDA スタッフより、これまでの首都圏交流大会の様子の紹介や、ルールの復習を行いました。POI(Point of Information)の練習では、POI の練習をしますと言うと、POI をしやすいよう椅子をずらすなどディベートに対する積極的な姿勢が見られました。



POI の練習

POI の練習を終えると、早速実践です。ディベートでは、論題に関係する人物を丁寧に分析したり、相手の話をよく聞いて反論したりすることができました。

ディベート後のジャッジのフィードバックでは、定義の仕方や他に話せたポイントなどジャッジへの質問が絶えず、次のディベートに向けてもっと学ぼうとする姿勢が見られました。



堂々とスピーチ



ジャッジの先生へ質問

最後に、今回ベストディベータに選ばれた生徒が「とても充実した時間となった。」「思ったよりも相手の話を聞きとることができて嬉しかった。」「反論をするのが難しかった。また頑張りたい。」と感想を述べました。



ベストディベータに選ばれた生徒による感想

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・今回は正直な自分の意見とは反対の意見を話さなくてもいけなかったが、そのような場面はディベートに限らず普段からありうるので、英語力も当然だが論理的思考力を養っていききたい。
- ・去年より英語力の伸びを感じられて嬉しかったです。チームのメンバーと協力して本格的なディベートが初めてという人にも教える立場で参加できました。回数を重ねてもっといい観点から考えられるように復習したいです。
- ・相手の言っていることを正確に聞き取ることがあまりできなかつたので、反論も論理的なものにすることが出来なかつた。テーマに対して短時間で多角的な視点を持って意見を論じることの難しさを感じた。
- ・何回もディベートを経験した訳ではなかつたが、論題についての考えを深めていくのは、とても楽しいものだった。考えを分かり易い英語に変換していけるように頑張っていきたい。
- ・自分の番、考えを伝えるのにとっても緊張した。時間も少なく意見がまとまらず大変だった。講評も頂けて非常に勉強になった。
- ・ここまで長い時間、自分の意見を短い時間で考えて言うのがとても厳しかった。しかしながら、お互いの意見を聞いたり言ったりするのが盛り上がったのでとても面白かった。
- ・論題が身近のものであつたので考えやすく楽しむことができました。
- ・なんとか例示などをして論理的に、否定の意見を伝えることができた。相手チームの反論をシンキングタイム 0 秒でさらに反論しなければいけないのが難しく、あまり上手くできなかった。definition をどう定義するかで、話の進み方が変わっていくことが面白いと思つた。また機会があれば挑戦してみたいです。
- ・法律的な内容に絡むようなものでなくて、すごくやりやすいもので、議論が深まったな〜と感じ、やりやすいもので嬉しかったです。